

Common Law

Restricted Book

名 前も知らないきみへ、はじめまして。

この手紙をきみが問題なく読めているのなら、俺の魔法は成功したということだ。

今きみが手にしているのは中央の国の魔法舎に保存されていた、古い書物の写しだ。

きみにとっては過去のもの、それとも未来のものになるのだろうか。

一部の賢者の書と同じ言語が使われているようだが、魔法で記憶を辿ってみたところ、賢者の書ではないらしい。

どうやらきみの世界にあった言葉たちが、厄災の影響でこちらの世界へ飛ばされてきたようだ。

きみ達の世界の言葉について、残念ながら俺はいまだ読み解くことができないでいるが、

類似の形式を繰り返し使っているようだから、言葉遊びの類ではないかと推測している。当たっていたら嬉しい。

きみ達の世界で生まれた言葉だ、きみ達の世界へ帰そう。

だけど俺の言葉はきみの言葉に、きみの言葉は俺の言葉に。

この書物がきみの世界へ還る瞬間、ここに書かれている言葉が俺にも読み取れるようになるはずだ。

だけでもいつかきみがこちらへ来ることがあったら、その時はここに書いてある文字の意味を、きみ自身の言葉で教えてほしい。それは俺にはできない、きみにしか作れない言葉だから。

いつか賢者だったかもしれない、あるいは、いつか賢者になるかもしれないきみへ

満月の夜に

Murr.H

月への呪文

まほやく呪文短歌集

Tanka-Spells
From "Promise of Wizard"

英田柚有子

青野

あんの屋

雨季

おつき

カヌレ

くじ

こんろ

椎葉

瀬良

谷

塚紗りむ

ぴよex

ミクニハレノ

満

雪解雨

よも

穂崎円

《ノスコムニア》無かったこととして生きる 雪がすべてを覆ってくれる

不可分なはずはないのに《ノスコムニア》不可分を望んだ 殺しても

俺だけが俺の王、そう教わった 最強になりますよ 《アルシム》

《クアーレ・モリト》おまえにあげた眼は僕のたましいの在処も見えるだろう

あやまたず撃ち抜く《アドノポテンスム》撃ち抜いてやる優しさはある

どこに触れたら痛いかは知っている《サティルクナート・ムルクリー、ド》

星座ならおまえの右手^めを剣として《マツァー・スディーパス》飾る 夢

小さくて容易く揺れる炎でも《レプセヴァイヴルプ・スノス》消えない

望むのは《アドノデイス・オムニス》子らに食べさせること眠らせること

厄災も稲妻も朝日も光《ヴォクスノク》そうか、美しいのか

《パルノクタン・ニクスジオ》傷、癒える傷 こんなにも生身の私たち

手を触れて形があらわれるときの《グラディアス・プロセラ》さやけさ

柔らかいものに触れたら《サンレティア・エディフ》墮落でしょうか、うれしい

《インヴィーベル》夢のわたしの手を取って。（取れないことを恥じなくていい）

月光を浴びた欠片がそここできらきらしてる。エアニュー・ランブル！

《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》生きていることがうれしいことがうれしい

《アモレスト・ヴィエッセ》僕の花嫁を隠して世界は遍く綺麗

《ボッシデオ》そのたびに付く擦り傷で渗む世界が綺麗 いまさら

《オルトニク・セトマオージェ》を。祝福を。そのままを愛せたらいいです

《フォーセタオ・メユーヴァ》今も探し続けている居場所、あなたの 俺の

呪文って祈りに似てる《オルトニク・セアルシスピルチェ》少し遠くて

英田柚有子

Twitter : @9mor1

行く先のない舟でした花という渾沌が咲くまでを 《アルシム》

クリームも灰も茨もお祈りも 《クアーレ・モリト》どこから来るの

引鉄を引くなら 《アドノポテンスム》目を逸らすなよ 朝焼けに月

《ノスコムニア》我らのおさない永遠に雪が降り積む 《ノスコムニア》

傘だった 雨だったのに 《アドノデイス・オムニス》開かれずにいる傘

《サティルクナート・ムルクリード》と唱えても声を持たない夢の汀に

銀の雨 望みは 《レプセヴァイヴルプ・スノス》怖れと似て目が眩む

朝露を蹴散らす 《マツファー・スディーパス》全部やるから望んでほしい



忘却を許さず灰は 《ヴォクスノク》子どものかたちをして甦る

《サンレティア・エディフ》炎よ揺れないでたったひとつの心臓でいて



《グラディアス・プロセラ》触れられる手がみな温かく生きている手だ

守られていると知る瞳が 《バルノクタン・ニクスジオ》映すオーロラの青



青野

Twitter : @ie_de6

戯れに指を伸ばせば 《インヴィーベル》グラスの中に月は揺らいで

《アモレスト・ヴィエッセ》けれど輪唱のように小鳥のあとから影は

比喩が火を滅ぼしたがる花火ってそういうものさ 《エアニュー・ランブル》！

《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》胸元に生き直す花のブートニエールを

本当のことが知りたい 《オルトニク・セアルシスピルチエ》疾風よ、来て

《オルトニク・セトマオージェ》風とともに翔ければ春の楽団に会う

《フォーセタオ・メユーヴァ》次の風を待つところの淵に糸を垂らして

吹いたってそれっきりだよ 《ポッシデオ》風は水面を撫でるばかりで

《クレレ・メミニ》互いが嫌いなオルターエゴ《クアーレ・モリト》で鏡が割れた

《アルシム》それは予期せぬ道標散れども茂る花園へ続く

打ち落とせ硝子の天井も稲妻も《アドノポテンスム》この手で全て

大人になってしまった

《ノスコムニア》に怯んで街を見渡す 雪だ

嫌いでない 《夕暮れと雨・の音》のことでも赤面する 嫌じゃないよ

自製の錆 されど鏡は照らすのだ《サティルクナート・ムルクリード》と

錠か鎖か《マツツアー・スディーパーズ》魔法使いであり続けること

あいつに もうついてはいかないし長雨は続く《…デイス・オムニス》



無意識に伏せた睫毛の《サンレティア・エディフ》は祈り 微笑みもまた

《ヴォクスノク》空が切れた日ベッドでは稚児がせがみし童話になりけり



グラディアス・プロセラ、ラ、ラ、ラ、友と踊る夜会のあとの鍛錬の熱

ぱんけーき 《ばるのくたん・にくすじお》甘くはもうない苦くはまだない



あんの屋

Twitter : @annoyamake

仮縫いの翼に命吹き込んで《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

探求の《エアニュー・ランブル》それだけで猫は殺され神も死にゆく

いかげんになさって《インヴィーベル》ワインが色深しきは溢れる間際

《アモレスト・ヴィエッセ》旅路に《アモレスト・ヴィエッセ》ただ積もっていく

《オルトニク・セトマオージエ》で絵筆にて混ざる夕焼け、夕闇と、シチュー

《フォーセタオ・メユーヴァ》一歩 一歩 百年が四つてやっとはじまりに着いた

求めてもなお見つからず《ポッシデオ》探してないのはさざ波の下

《オルトニク・セアルシスビルチェ》往路行く南の温もり月の輝き

ぜんぶひらいてみればわかるよへクーレ・メミニいのちのことも孤独のことも

剥き出して疾走るところを弾と呼ぶへアドノポテンスムうつせみと星

へノスコムニアならんで踏んだ雪の音やともに眺めた海や(遠いな)

もう二度とへアルシム開かぬドアもありへアルシム春に無数の花を

はなびらのつめたさは触ればわかるへサティルクナート・ムルクリード

分け合えばいつそう甘くへレプセヴァイヴルプ・スノスと震動^{リズム}弁は歌う

満たされることなどへマッツァー・スディーパス胸のこずえを揺らす雨音

へアドノデイス・オムニス殻を割るときに射し込むひかり(何を)ほろぼす



つばさ、つばさ、へパルノクタン・ニクスジオはばたくための火を、てのひらに

覚めるたび「1」から始まる世界でもへグラディアス・プロセーラ見据える



へサンレティア祈りではなくふれられる湯気の温度のさいわいへエディフ

へヴォクスノク切り裂くための息だった(光で絶てぬ光のことは)



雨季

Twitter : @suimyaku_flow

結び目をほどけば胸にいっぱいのへスイスピシーボ・ヴォイティンゴーク

へアモレスト・ヴィエッセ目には見えずともうつくしい歌でしょう 小鳥も

絵のように愛でてよければへインヴィーベル傷があるから光るのですよ

月の裏も心の裏もカットしてへエアニュー・ランブル光らせようよ

へフォーセタオ・メユウヴァ星は遠いほどしるべになると知っていて、でも

草を踏む匂いもすべて抱いてゆきますへオルトニク・セアルシスピルチェ

夜を知るためなら夜にへオルトニク・セトマオージエ次はあなたに

はなびらを撒く まっすぐに落ちるほど重くなれないだけへボッシデオ

《ノスコムニア》少しの興味で無二はなき愛しておるよと《ノスコムニア》

罪人に《アドノ……》言いさし白昼夢うつろい望むは《 》

花よ笑え 蕾と種が踊れるように《アルシム》繋げ縁まで

はらわためめだまも全部甘あく溶かして《クアーレ・モリト》

《クーレ・メミニ》ごろごろ固めてチョコレート ここは真つ暗なんにも見えない

きみの手が錆で汚れぬよう《サティルクナート・ムルクリード》は呪い
夕立にお願い花の香連れてきてどうか《レプセヴァイヴルプ・スノス》
身命を賭して《マッツァー・スディーパス》 命じろ 違えられても本望

《ヴォクスノク》黒を切り裂く光は迷い吹き荒ぶ白と混じれば灰

白銀も闇も彩る光よ導け《パルノクタン・ニクスジオ》

《グラディアス・プロセラ》で忠誠を 「シャル・ウィ・ダンス？」で信愛を

陽を浴びて僕を友と呼ぶ人がいる《サンレティア・エディフ》 幼き灯 揺れる

おやすみなさい《インヴィーベル》お次は夢かカウンター越して会いましょう
四本の手足じゃ足りない花束あげるドキドキするでしょ？ 《エアニュー・ランブル》
木漏れ日の楽譜を讀え《アモレスト・ヴィエッセ》お礼にお茶会を
夜なべしてきみの笑顔を夢に見る《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

《ボッシデオ》さよなら三角また三角 降り積もるせんは白も隠した
《フォーセタオ・メユーヴァ》貴方のための鉄 錆朽ちるまでどうかお側に
《オルトニク・セトマオージェ》に編み込んだ言葉と心で未来を紡ぐ
手の中の内緒の月に《オルトニク・セアルシスビルチェ》強さをください

おつき
Twitter : @otsuki_mhyk

ノスコムニア 健やかであれ夢寐の間も二千先まであいたずさえる

命かけ盗る宝こそ生き様と掲げる言葉 アドノポテンスム

クレレミニ アーカイヴへのレタッチは森に置きざり」どうして死ぬの？」

約束の髑髏ひきいて青空へ 赤 知らしめるためのアルシム

レプセヴァイブルプ・スノスと雨音と自鳴琴の声は お守り

守る者たちへのマツファー・スデーパーパス 泥のにおいを勲章にして

聞こえないふりもできるよアドノデイス・オムニス外は雨なんだから

たましいはサティルクナード・ムルクリード灰になれずに水せがむ 夜

朝ねぼう文字のれんしゅうサンレティア・エディフ夜中にわけ合うおかし

せせらぎの中から跳ねるきらきらのグラディアス・プロセーラ握って

暴風雪 落ちし子さけぶパルノクタン…！ 北の大地も驚いたろう

ヴォクスノク 王の子依りて燦ぶ火を覗けばひかる曇りなき眼

アモレスト・ヴィエッセ ヴィヴァーチェ ヴィヴァチッシモ コン・アモーレを弾く指先

人生は、スイスピシーボ・フラジリス・エキスピアリ・ヴォイティンゴークさ！

樽のふち指でなぞりしはじめての別れはインヴィーベル 包まれて

今夜だけきみへのエアニュー・ランブルは突き放す詩になる 受け取って

ボッシデオ 尽きぬことばの潮騒を出会いと名づけ追うことなんて、

若草は朝露こぼしオルトニク・セアルシスピルチェ 自由を知る

つらいときこそ踊りましょオルトニク・セトマオーシェ 荒地を蹴って

激動が過ぎた山脈 ゆれる花 深呼吸 フォーセタオ・メューヴァ

カヌレ

Twitter : @canelesan1

重くした革袋の引く轍さえ《アドノポテンスム》腹に詰め込み

目が回るほどに怖がっているといい名前を呼んでよ《クーレ・メミニ》

欲しくないその目で見るなうるさいな名前を呼ぶなよ《クアーレ・モリト》

泳ぐ權《アルシム》花だ《アルシム》子《アルシム》ぬくい手まなこの裏側

《ノスコムニア》祝いのやまびこ木々を割り日向に揺れるマーシアの新芽

《ノスコムニア》祝いのいかずち木々を割り伏す古枝に玻璃の饅

おい起きろ案山子《マッツァー・スデイーパス》口笛ならう頼は夕焼け

夜風のクレッシェンドに寄せ《レプセヴァイヴルプ・スノス》テノール・ソロ

雪解けに指凍みて招く《サティルクナート・ムルクリード》本日三毛

行きずりのいのち傘かげさし入れて足早に《アドノデイス・オムニス》

くじ

Twitter : @94Kuji



太陽とやらの仕事を奪われて《サンレティア・エディフ》油の余る

ほしの海揺く《パルノクタン・ニクスジオ》砂浜のしろさらさらのしろ



掘り出して触れて口づけ《グラディアス・プロセーラ》もう閉ざすことはない

《ヴォクスノク》こころとせかいの約束を守る助けの対価というだけ



この空を裂いて継いだの枕にしよう《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

幕間に幸福溶かした綿あめを《アモレスト・ヴィエッセ》残響を

暗がりにはぶどうふつつ焦がれ待つ《インヴィーベル》に選り抜かるるを

まこえたさわたしに來し方質すめびじ覽に入れよう《エアニュー・ランブル》

石の実と葉と《オルトニク・セアルシスピルチェ》すりあわせ毒も薬も役なせば玉

雲叩く第一陣《オルトニク・セトマオージエ》子らの歓声

あて布の色もとりどり《フォーセタオ・メユーヴァ》靴は紐張り詰めるほど

《ポッシデオ》なつかしさに似た味探し齒を立てぬよう転がしている

青鬼泣「赤を抱きてあやさなむ、のち我も赤と果てなむ」セーの、
赤鬼泣「青に焦がれて青を刺す、のち我も青に染まらむ」セーの、

「わからないな。誰かのための《アルシム》などありませんよ」と花火はゆれた

びちよびちよと

《クアーレ（だれか）・（みつけて）モリト》

目からあめがふってきた 血みたい

《クーレ・メミニメミニメミニオオカミノツメ誰も見つけるな》心臓はぼく

赤く塗れ！てめえでぶん獲った指輪を嵌めろ！野郎共《アドノポテンスム》

丘の（こねこ）

《サティルクナート・（こねこ）ムルクリード》

鐘は鳴る、ねむる

（こねこ）

《アドノデイス・オムニス》透明なあなたが花雪のように泣く きこえるよ

きり、きり、きり。大丈夫だよ。繕うよ。《レプセヴァイブルプ・スノス》きり、きり。

健やかな心《！マツツァースディーパス》ピザプロテインペヤングポテト



ねえオズ様すいかのたねをとばせたらほめてください、あつ！《ヴォクスノク》

《グラディアス・「風よ踊ろう！」プロセーラ》硝子の靴は揃えてあります

ゆら、ゆら、ゆら。



ゆら《バルノクタン・〈nocturne〉〈愛〉〈ひかる〉〈岩〉〈雪〉ニクスジオ》



《サンレティア・エディフ》おたまじゃくしたちが文字を描く、

ド、レ、ミ、

ファ、リ、け、

ソラシド



こんろ

Twitter : @murrchannkawaii

或る処に愚かな主と《インヴィーベル》猫一匹 それだけのお話。

！次々の欠片がうまれてしんでゆくつかまえなくちゃ 《エアニュー・ラ……

《・ヴィエッセ》の悔を誰にも悟らせず《アモレスト》美き音のみ 天晴れ

なみだには《スイスピシーヴォ・（内緒だよ）・ヴォイティンゴーク》を縫いつけておくね

死出を《夢む（どうか、輪廻してください）（心臓にともしびを照らす、《ぼっ

《フォーセタオ・（メユウヴァ）（メユウヴァ）（メユウヴァ）》よし。

絆創膏は貼っておきました。

《オルトニク・（かあさま）セトマオージェ（とうさま）》ルチルは碧をつくれます、いつでも

こほん。

すう、

《「オルト」「ニク」

「・」「セア」

「ルシスピ」「ルチエ」《

ほら！ くすりが六個できましたよ！

哀れじゃな 幾度重ねど へ……ノスコムニア 重ならぬ音 まだ鮮やかに

不思議じゃな まだ届くなら へノスコムニア 捨てるには愛い 幾度重ねど

教えてよ へクーレ・メミニ なぜ怖がるの？ きみの後ろに きみはいるのに

縁など へ……アルシム どんだ置き土産 どうして笑う あなたみたいだ

失えば 奪うさ へアドノ・ポテンスム 悔やむくらいじゃ 呵々とあれよと

なれぬ果て へサティルクナート・ムルクリード なあ鏡よ鏡 呪えど晒え

呼ばせろよ へレプセヴァイヴルプ・スノス 駆け抜く あの稲妻が 俺の友だと

痛みさえ 消せぬ へマツツァー・スディーパス 酸いのに甘い 初めてのゆめ

懲りもせず 繰り返す へアドノ 一皿に 託す祈りか へデイス・オムニス



銀はるか 「……さま！」 「なんだ」……雪ごときものが化かすか 去ね へヴォクスノク

灯すのは あの へパルノクタン・ニクスジォ 凍える城は ほんとほここだ



届くなら 翳せ へグラディアス・プロセーラ 「……魔法使いが」 俺は守るさ

赦しましょう へサンレティア・エディフ ひとつ教えて あなたのパンは あたたかいですか？



椎葉

Twitter : @Gretchenmaho

召し上げれ 洒落も海音も へインヴィーベル もう出会えない 今宵の色を

絵の具箱 へエアニュー・ランブル ぐちゃぐちゃだ！ 名前をつけて！きみの言葉で！

編み上げて へスイスピシーボ・ヴォイティンゴーク 明日の誰かを 飾るようにと

へアモレスト・ヴィエッセ さあ、ほら手を取って？ 世界もきみも とても綺麗だ

望むのかい？それは容易い。 へボッシデオ……そう、それほどに、綺麗なんだね

万華鏡 見て！ へオルトニク・セトマオージエ どれもきらきら 守りたいもの

できないさ 時、足跡も へフォーセタオ・メユウヴァ 変えぬ 降り積もるまよ

掌か 拳か ボクは……！ へオルトニク・セアルシスピルチェ 強くなりたい

「重なる」と「重ねる」のあいだ《ノスコムニア》この機微わかるひとだけ止まれ

いつだって最高高度を見せてやる《アドノポテンスム》望むものなら

ひかっている まぶたの裏は赤と黒だけでいいのに、《クアーレ・モリト》

はじまり、も終わり、もいつか、も知らなくて確かなこととしての《アルシム》

目を凝らす《サティルクナート・ムルクリード》呪いと祈りは似ているゆえに

生きたことは正しい《マツファー・スディールパス》素直に生きたことは正しい

《レプセヴァイヴルプ・スノス》日曜に降る雨だって美しい雨

《アドノデイス・（生きていたもの）・オムニス》をなすだけ優しく奪う生活



《ヴォクスノク》揺るがすことに慣れた手で離さないよう触れる泡沫

守るため《バルノクタン・ニクスジオ》護られていた日々を知るから



祝福を《グラディアス・プロセラ》今伸ばす右手を掴んでほしい

澄み切った瞳で見るほど《サンレディア・エディフ》まぶしく鮮やかな日々



瀬良

Twitter : @dawningng

悲喜劇に酔い痴れてこそその人生へ《インヴィーベル》とお守りをやる

知ることも忘れることも怖いこと？《エアニュー・ランブル》楽しめること！

暗がりも知る人じゃなきゃ《スイスビシーボ・ヴォイティンゴーク》ひかりは編めない

甘やかでうつくしいもの《アモレスト・ヴィエッセ》きみは僕だけのもの

《ボッシデオ》貼ったのはきみ？ いや そうか 四方に進入禁止のテープ

《オルトニク・セアルシスピルチェ》どうしても大人や月はいじわるですか

あたたかいものだと思う《フォーセタオ・メユーヴァ》生命、未来、たましい

分かち合うために言葉はあるのです。ほら、《オルトニク・セトマオージェ》も

全霊^{たま}をもて斃^{たふ}すべし霹靂^{たふ}のしじまとなるまでアルシムすべし

正面^{おもて}より《アドノポテンスム》撃ち貫きし銃声をもて餞^{はな}とせよ

《クーレ・メミニ》籠をなくした金糸雀の目をして困つて戸惑つて さう

夏の花みたいにつか枯れちやふの おまへのことだよ《クアーレ・モリト》

《ノスコムニア》吹雪を纏ひかたわれと《ノスコムニア》舞ふ皓^はきはたれ

即席にレモン・マツファー・スディーパス・パイのうた歌ふ午^{ひる}の中庭

ゆふぐれに凧といふ名を与へたり《レプセヴァイヴルプ・スノス》 凧、来よ

《アドノデイス・オムニス》子らにさいはひを教へてやれば麦のふさふさ

もう(サティルクナート) 願ふ事もなき流星が(ムルクリード) 綺麗



銀世界 すべては愛しく厭はしくすべてはおまへの跡《ヴォクスノク》

わたゆきを食む《バルノクタン・ニクスジオ》霽^はるくるひととありし日のこと



お嬢さん、お手を《グラディアス・プロセラ》感嘆符ふたつ飛ばして躍る

《サンレティア・エディフ》光のあるまではふかふかのパンは無かつたのです



谷

Twitter : @tani449

うすぎぬを溢るるやうに愛のやうにインヴィーベルをあなたの頬に

わエアれはちちニューにさかれたりランびブルんのなか わくわくしちやふ!

かりそめの死よ うれしいなうれしいな《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

すきなだけ空に浮かべよう《アモレスト・ヴィエッセ》愛は小鳥のかたち

《ボッシデオ》終^つの棲家を支度せり出逢ひはひとのお気に召すまま

われ一人ぶんの重さを《オルトニク・セアルシスピルチエ》薬研にあづく

「オルトニク・セトマオージェ」と唱へあふ帰り道はみんな魔法使ひ

《フォーセタオ・メユーヴァ》山を見あぐればこころの山に犬駆けわたる

森の奥 独りの世には 雪の白《ノスコムニア》と 縊る無二の身

《ノスコムニア》世界を埋める 白い雪 片割れの涙と 凍てつく唯一

《アルシム》と無情な声を拾うのは 今も昔も 違う亜麻色

夢で見た 眩い蜜の 朝の色《クアーレ・モリト》異端と呼ばれども

征服が 俺の矜持だと 雨の音《アドノポテンスム》シトリン見つめ

董咲く《サティルクナート・ムルクリッド》炎の色と 幽寂の谷

見とけよ《マツツァー・スディーパス》ほら碧玉に捧ぐ信義と栄光を

紅玉は 眩く強く 信じたい 《レプセヴァイヴルプ・スノス》友情を

《アドノデイス・オムニス》諦念 傍に置き ワインレッドの夕焼け空と

この国に威厳の雷降らすとも《ヴォクスノク》あの瞳曇らせぬ

《バルノクタン・ニクスジオ》さあ 行きましょう 瞳も空も 蒼く高潔に

《グラディアス・プロセラ》この片目でも 騎士の正義は ついぞ潰えぬ

この世界 純粹な穢れ 満ちている《サンレティア・エディフ》風を身に感じ

《インヴィーベル》月は見ていた 妖艶に 燦る夕闇 私への悔やみ

狂乱と 月に魅せられ 言われども《エアニーランブル》きみを愛してる

《アモレスト・ヴィエッセ》青い鳥が飛ぶ 優雅なワルツ いつまでもきみと

希望の音 扉を叩く あんたの声《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

《ボッシンデオ》空に還そう その命 甲斐など無いさ 叡智在れども

亜麻の髪 《オルトニク・セトマオージェ》慈愛の色と 母は詠った

《フォーセタオ・メユーヴァ》この身 朽ちることも 忠誠の炎は董の傍に

《オルトニク・セアルシスピルチェ》風を受け 理想を語ろう 月の空の下

塚紗りむ

Twitter : @rimu_t_maho

幻影をつなぎとめて《ノスコムニア》それは願いじゃこれは呪いじゃ

懐かしい声であなたが呼んだから《アルシム》^{ミエーラ}見えるように派手にやります

叶いっこない御伽噺《クレー・メミニ》なんだほんとにつまんない

もりのなかくれたばくをみつけてね《クアーレ・モリト》いつかきしさま

銃口に総てを詰めて打ち放つ《アドノポテンスム》俺のポテンシャル

鳥屠る白きその手を差し伸ばしサティルクナートムルクリードして

《アドノデイス・オムニス》唱えずでける魔法その美味しいで使える魔法

さかさまの世界は《マッツァー・スディーパス》幸せのパイの味がするんだ

螺子巻きにレプセヴァイヴルプ・スノスのせ機械仕掛けの世界が輪る



燼滅を齎^{もたら}する祝詞^{ことば}ヴォスクノクいまはただこの幼子に幸あれと願い

忌まわれしこのバルノクタン・ニクスジオ唱える度に想うは守り歌



サンレティア・エディフと祈りとランタンは居場所をくれる灯火だから

グラディアス・プロセーラとこの剣で薙ぎ伏せ拓く我が君の路



ぴょ ex

Twitter : @piyoex2

醸す色インヴィーベルに愛をのせ「はぁ極上の一杯をどうぞ」

うるわしの君が落ちてくきらきら乱舞エアニュー・ランブルあれ？落ちるのは俺

《アモレスト・ヴィエッセ》糸を手繰り寄せ紡いで奏でてあなたに謳う

あんたがくれた素敵を全部縫い付けて《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》！

蛭蛸を見て物思ふ《ポッシデオ》あゝまるで人の子のやうだ

月の下踊るあなたの影になり《フォーセタオ・メューヴァ》それは楔にも似て

オルトニク・セトマオージエをはんぶんこ愛みちるこの世界へようこそ

オルトニク・セアルシスピルチェ大地より息吹出た芽が薬となる

《ノスコムニア》とけないゆきはえいえんの証のふりをしてまた積もる

かさねればわずかに透けるえいえんをわすれた声で《ノスコムニア》

ひらいてもひらいても春《アルシム》つまさきだけが湖水にのこる

わかちあうことはできずにあざやかな《クレー・メミニ》眼裏のゆめ

ささやきは枯れない葉擦れ 僕だけが《クアーレ・モリト》影をのばして

花曇り《アドノポテンスム》散るものもなく晒されているだけの傷



手に入れるすべては遺跡 千の夜に真白は降りつづける《ヴォクスノク》

あたたかな冬はたしかに《パルノクタン・ニクスジオ》この届かない手に



ふりかえらない《グラディアス・プロセラ》痛みは風の行方を告げる

《サンレティア・エディフ》まぶたをとじるときふれているのはかみさまだから



《インヴィーベル》枯れない花を花と呼ぶたびにこころの場所は灼かれて

叶えたいことを火花にしてごらん眩しいだけさ《エアニュー・ランブル》

消えないで 夜に釦を縫いつけて《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

さえずりはせかいに満ちて《アモレスト・ヴィエッセ》空いたままの鳥籠

《サティルクナート・ムルクリード》傷跡に芽吹くみどりはかすかに揺れる

切り裂いた《マッツァー・スディーパス》たったひとつの星のひかる暗闇

おそれない明日であるようこの窓を《レプセヴァイヴルプ・スノス》ひらいて

とじられた扉に鍵を《アドノディス・オムニス》街がわすれるあかり



ミクニハレノ

Twitter : @mknhrn_31



凍らない波にかたちは溶けてゆく（呼ばれたかった）嘘 《ボッシデオ》

手をつなぐ夜《オルトニク・セトマオージエ》花園に咲く花のさみしさ

傘をもたないみちゆきに《フォーセタオ・メユーヴァ》ひととき虹になる雨

《オルトニク・セアルシスピルチェ》 擦り傷のいたみのためにはもう泣けなくて

死が”我”を分かつ瞬間《ノスコムニア》ぬかせ、”我ら”は元よりふたり

《アルシム》はなを持たぬ子に花束を献ぐいつかの記憶《アルシム》

知りたいよ《クアーレ・モリト》忌々しい色がなんだか甘い理由を

耳澄ませ呼吸を忘れる生き急ぐための弾丸《アドノポテンスム》

野宮の火《サティルクナート》戻らぬ日《ムルクリード》手を合わせた碑

心音よ、鎮まれ《マッツァー・スディーパス》気高く尖った刃であれよ

窓際の《レプセヴァイヴルプ・スノス》ほら、冷えないうちに身体を拭けよ

伸ばした手結んでほぐく《アドノデイス・オムニス》どうか諦めたくて

満

Twitter : @Mondlicht_pine

雷鳴の轟く刹那《ヴォクスノク》誰が為の声中央へ越え

音もなく降り積もる雪《バルノクタン・ニクスジオ》愛 溶けたりしない

《グラディアス・プロセーラ》剣交わし合うように唱える言葉は君へ

祈りとはひどく冷たい鋭さでやわく手を組む《サンレティア・エディフ》

甘やかな《インヴィーベル》の吐息すらリップサービス煙にまかれて

跳んでみて!《エアニュー》ほらね、こうすれば《ランブル》世界はめちゃくちゃでしょう?

あの日から《スイスピシーボ》触れたもの《ヴォイティンゴーク》忘れたくない

《アモレスト・ヴィエッセ》僕が旅した日 あなたに捧ぐ忘却の愛

大丈夫、怖くはないよ《ボッシデオ》たかが千年生きただけだよ

物語る未来を夢見て《オルトニク・セトマオージェ》めでたしめでたし

《フォーセタオ》炎が照らす横顔をただもう一度願う《メユーヴァ》

《オルトニク》指先すり抜け吹く風が母のぬくもり《セアルシスピルチェ》

《ノスコムニア》その緒とは我
その音は別れ 遺跡にも笑い、結い、いつも愛しいことよ
いがいにもわらいゆいいつもかなしいことよ
意外にも唯（唯一も哀しいことよ）

アルデバランは花の名を懐かしむ ある春の陽が身に染む 《アルシム》

「苦、あれ」と クスクスと暗闇の音 朽ちた護りと「クアーレ・モリト」

（クレーメミニ） 昏れの寒紅 くたびれた絵本に 狂った森の夢見に

勝ち負けも命も指も引き金に 賭け懸け懸け たら叫べ！ 《アドノポテンスム》

サティルクナート、で夢から目が覚める。途切れたムルクリードは 祝_レ祝_レい？

黎明を告げる《マツツアー・スディーパス》は初めて貰った一切れの愛

捨てられないだけだったレプセヴァイヴルプ・スノスもここで友と在ろうか

アドノデイス・オムニスをまた雨音に隠して人に馴染んで生きる



《ヴォクスノク》 《 》 …… 苦も幸せも掬われて残されたから繰り返していた

思い出の景色をなぞる。パルノクタン・ニクスジオと雪、星の唄と橋。



グラディアス・プロセーラの音もこの剣も背負う命分等しく重い

《サンレティア・エディフ》ランタン燦々と照らすこの道は正しいですか？



雪解雨

Twitter : @__yukidoke

「おや？なんと可愛らしい方。今晚のインヴィーベルはサービスですよ」

エアガンを隠したアベニュー 乱世とは自由？トラブル？ 《エアニュー・ランブル》

泣き顔も笑顔も素敵な柄になる！ 《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

鳥籠の隙間に囁く（アモレスト・ヴィエッセ）（空は綺麗で怖い）

ぽかぽかと罪さえとかす幸せに出逢い《ポッシデオ》 俺だけ寒い

《オルトニク・素敵・大好き・ありがとう・セトマオージエ》 ほら、言葉も魔法。

《フォーセタオ・メユーヴァ》 今も待っている夢の続きへ、羊が一匹、

傷口にそっとおまじない（オルトニク・セアルシスビルチエ痛い痛い飛んでいけ） 強くなります

《ノスコムニア》（我らの）（我の）真二つの輪郭をなぞる愛の言霊

《アルシム》と音律のない歌をうたえ 太陽を喰らう獣の歌を

あたらしい景色をあげる《クーレ・メミニ》眼を（傷口を）開いてみせて

ひく息にふれる額を撫でてやる 目蓋を閉じる 《クアーレ・モリト》

《アドノポテンスム》継ぎ接ぎの火薬よ爆ぜろ 狙う星総て撃ち落とすため

跡地にて《サティルクナート・ムルクリッド》触れては硝子片にて覆う

きんいろの水面《マツツァー・スディーパス》海底にひとつ石を積んだ

突き立てる《レプセヴァイヴルプ・スノス》手に余る歯車握るなら牙

《アドノデイス・オムニス》俺は息継ぎをしてふくらんだ生地をのばす



《ヴォクスノク》尾を薙いで得た頂に名の周縁のひびきを思う

雪道に行く《バルノクタン・ニクスジオ》厚く静かな外套は揺れ



鞘走りの音《グラディアス・プロセーラ》不可視の剣は陽に踊る

照らすのは天からの光ばかりではないようです《サンレティア・エディフ》



《インヴィーベル》琥珀の酔いに溶かされて滲む氷のあわいは愛し

九つじゃ足りない！ドアを見たら開けずになんていられない！《エアニュー・ランブル》！

いま結ぶもらえなかったリボンたち《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

醒めるまで夢。《アモレスト・ヴィエッセ》拍は消え波が聴こえますから

乾いても生きられる腕 でも水を掬っていたくて《ボッシデオ》、また、

《オルトニク・セトマオーシエ》空を掃く幕は遙か、のびやかであること

《フォーセタオ・メユーヴァ》たとえばコーヒーに角砂糖ひとつ落として飲む日

舌を噛む《オルトニク・セアルシスピルチエ》あなたは舌、歯を持つということ



よも

Twitter : @medetaaaai

(アルシム) 扉を開けたその先の光を信じればいいと言われた

撃鉄を静かに起こし引き金を――アドノポテンスム、奪うだけだろ

錠前を下ろしてもなお解する(クアーレ・モリト) 声がうるさい

我らとふ主語抱きつつ雪道をゆけばノスコムニアと響けり

でも今も(マツツァー・スディーバス) 俺が俺に戻るのはこの森のなか

アドノデイス・オムニス雨が降っているいつ止むべきかわからないまま

風は吹く(サティルクナート・ムルクリード) 誰も責められずに、くりかえし

こぼさぬよう捧げて持つよしろがねのレプセヴァイヴルプ・スノスの共振

世界からおまえを、あるいはおまえから――《ヴォクスノク》夜の緞帳が降る

夜の窓しずかに叩く(バルノクタン・ニクスジオ) まだ閉まっけていても

手を叩く、重なる、触れる、グラディアス・プロセーラ 握る、俺の剣を

サンレティア・エディフ 光はまっすぐに僕らも遠くまで行けますよう

希釈して差し上げますね《インヴィーベル》 最後まで飲み干せるよう

ブラン・ニュー・エアニュー・ランブル月が笑う碎けて笑うあとは花びら！

新しい一針、一裁ち、目を覚ませ スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク

アモレスト・ヴィエッセひらけば胸中に張りつめていた弦の金色

かあさまと口にするとき(オルトニク・セアルシスビルチエ) ちいさな光

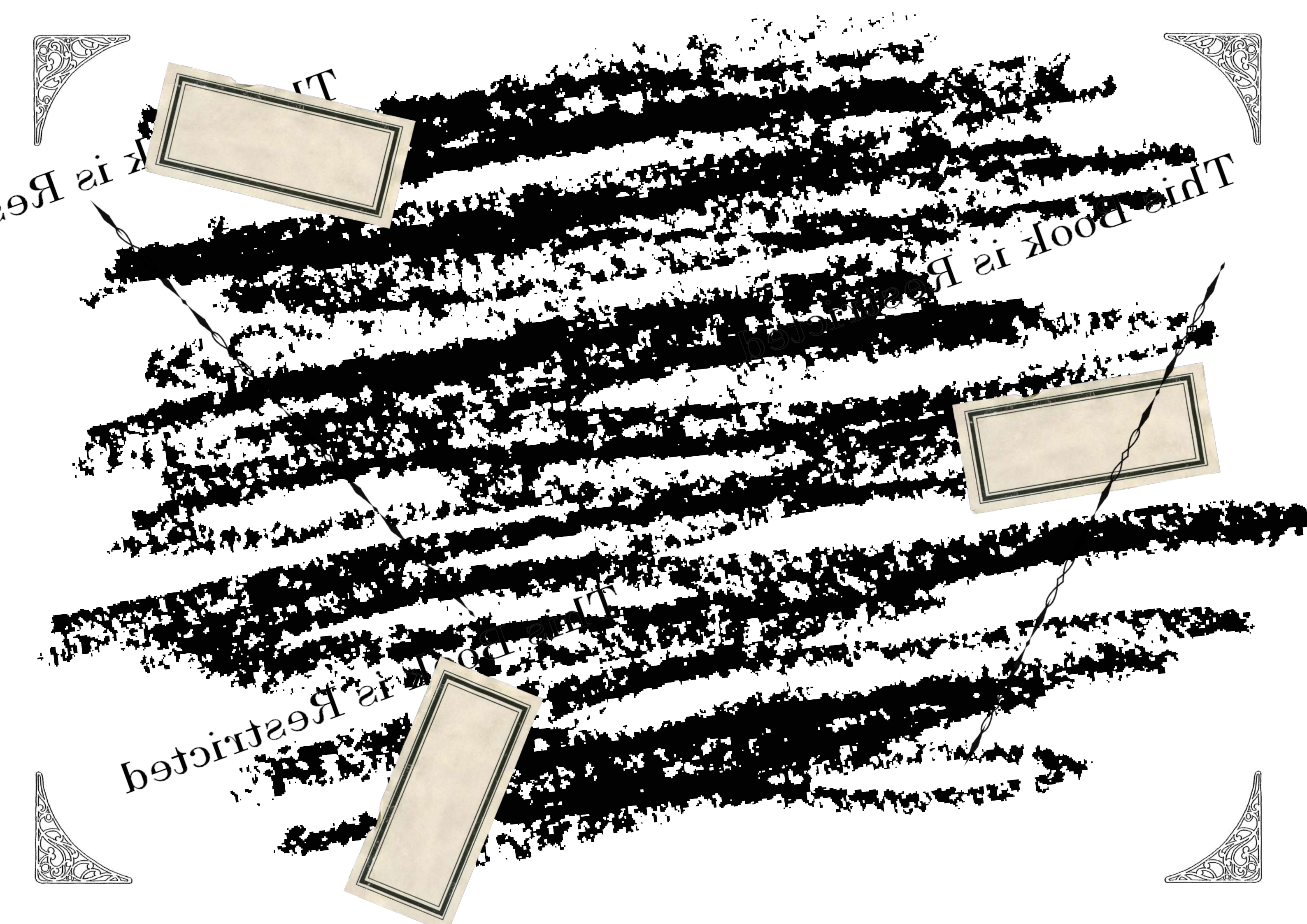
フォーセタオ――火を灯すとは火を囲む暗闇を見ることだ――メユーヴァ

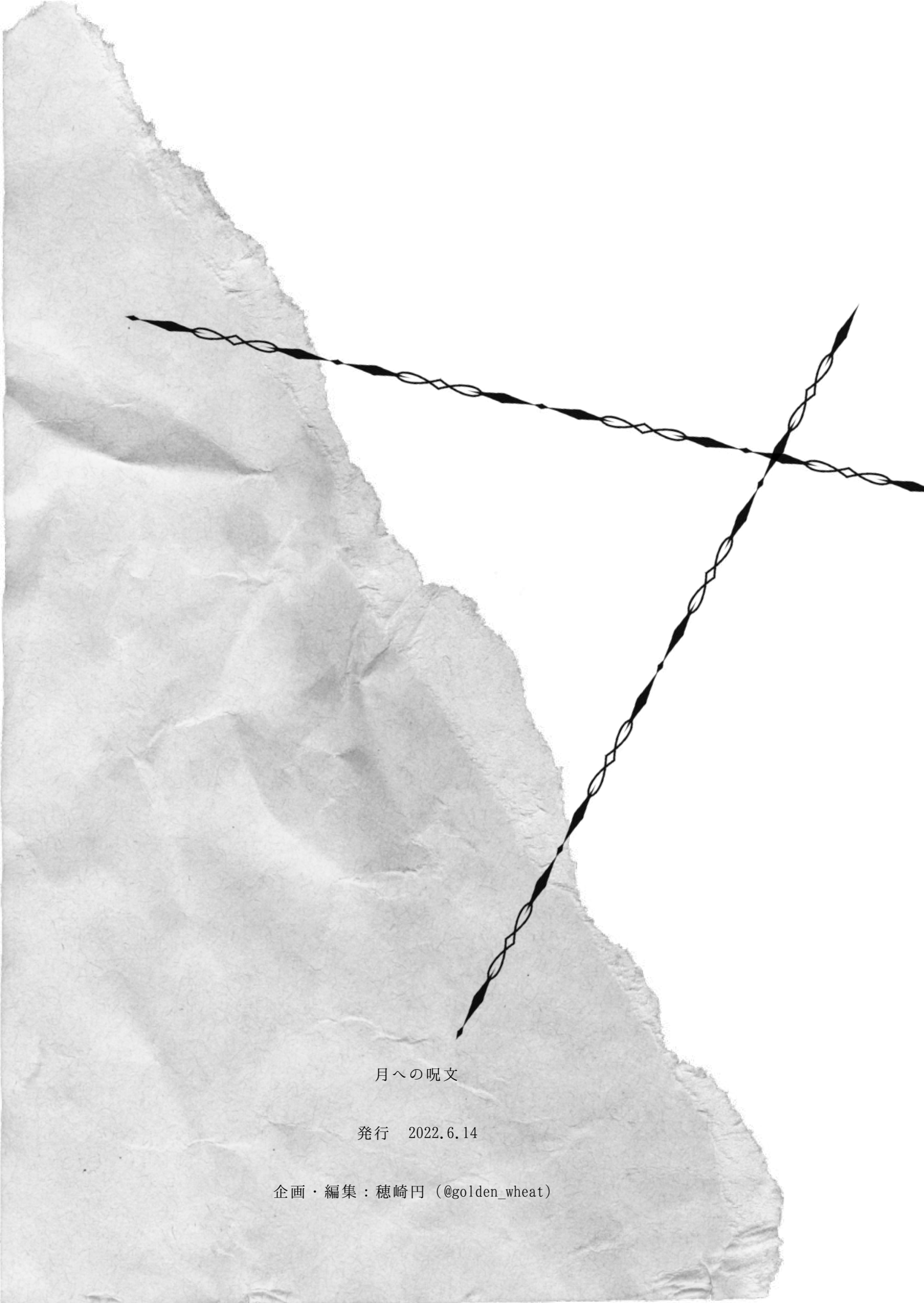
ポッシデオ (雪もいのちも溶けること) (水面に落ちて消えた足音)

いつか遠い凍湖に響く(オルトニク・セトマオージエ) 歌をうたって

穂崎円

Twitter : @golden_wheat





月への呪文

発行 2022.6.14

企画・編集：穂崎円 (@golden_wheat)

歌よみの賢者さまへ

#月への呪文短歌 って付けて tweet したら
こっちの世界に言葉が届くかも！

Promise of Wizard



@spellonthemoon